

CSだより

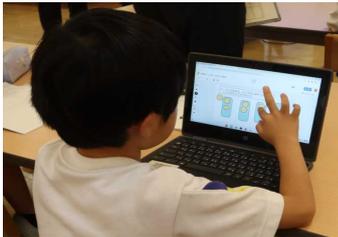


西条のほたるっ子

昭和町立西条小学校
学校だより No.4
令和5年7月20日
校長 本田 司

【学校教育目標】『確かな学力を身につけた心身ともに健康な子どもの育成』

IMPULS インパルスの皆さんが来校しました



タブレットを操作し考える児童

IMPULS（インパルス）の皆さんが来校しました。インパルスとは、国際算数数学授業研究会で、海外から30名ほどの先生方と国内の関係者10名ほどの先生方が、6月22日（木）に本校を訪れました。その目的は、3年3組（佐野友紀教諭）の算数科わり算の授業とその後行われた研究協議の参観でした。

わり算の学習は、児童にとっても大きな課題で、我々教師としてもどのように授業を展開していくべきか、研究テーマとなります。参観していただいた授業の内容は、「6個のあめを2人に同じ数ずつ配ると1人分は何個になりますか？」という問題と「6個のあめを1人に2個ずつ配ると何人に配れますか？」という問題について、この2つの問題は違っているけれど、両方とも「わり算」の考えで解くことができ、その答えは「かけ算」を使って見つけられることを理解するものでした。児童にとっては、 $6 \div 2 = 3$ と簡単に計算はできるのですが、問題の構造を明確に捉えられていないことが多く、それがのちのちわり算を難しく感じる1つの理由になってきます。

佐野教諭は、この授業を行うにあたり、タブレットの活用を考え取り組みました。それは、思考ツールとして児童の考えを表現することに有効であり、特に再現性や視認性に優れているためです。実際、児童は、タブレットを操作しながら、どのように答えを導き出すか、やり直したり巻き戻したりして考えをまとめました。また、クラス全体で児童の考え方を共有する際には、大型ディスプレイに映し出される画像がとても見やすく、ICTを活用する良さを実感する場面が随所に見られました。



大型ディスプレイで

考え方を確認する



ホタルンジャーが

英語で学校紹介を想定して、日本を感じられる「春の小川」を予め選曲しました。その後、全教室に外国からの先生方1~2名をお招きし、給食を一緒に食べました。5年生は総合的な学習の時間の単元「ハローワールド」に関わって交流しました。交流するにあたり、まずは自国理解から始めました。日本の伝統的な文化等に注目して調べ学習を行い、それを紹介することになりました。そして、紹介内容をまとめ英語でプレゼンできるように取り組みました。児童によっては、8文程度を言えるようになっていました。各クラスに10名程度の外国の先生に入ってもらい、児童が日本のことについてを紹介しました。とても堂々とした態度でしっかりと伝えることができました。そして、外国の先生の自国についても教えてもらうことができ、とても素晴らしい機会となりました。

本校は、英語コミュニケーション能力強化重点校として、国際理解教育も推進しています。今回のインパルスの皆さんの来校は、算数科の研究だけでなく、国際理解教育の観点からも大変貴重なものとなりました。



外国の先生から

自国のことを聞く

世界と一緒に 西条小を変えるための17の目標



西条小学校では、SDGsに取り組んでいます。児童会においても全校で活動しています。SDGsの17の目標を、児童がより身近な目標として行動できるように西条小バージョンに作りかえてくれました。次の通りです。

- 1 ボランティアに参加する
- 2 給食を残さず食べる
- 3 手洗いうがい
- 4 外で遊ぶ
- 5 授業に集中して取り組む
- 6 友達に優しい言動をする
- 7 節水をする
- 8 節電をする
- 9 係や委員会に全力で取り組む
- 10 タブレットを使いこなす
- 11 他学年と積極的に交流する
- 12 さいじょう清掃をする
- 13 リサイクル活動に参加する
- 14 教室の換気をする整理整頓をする
- 15 ビオトープの豊かさを守る
- 16 校庭の豊かさを守る
- 17 話し合いを上手に行う
- 18 クラスの友達と力を合わせる

6月13日(火)～7月13日(木)までの1ヶ月間、1週間ごとにクラスで1つ目標を選んで取り組み、達成できた場合にはワークスペースにある木にその目標の色紙を貼っていきました。まるで色鮮やかな花が咲いたようでした。

広がるあいさつの輪

6月15日(木)～29日(木)の間、クラスあいさつリレーが行われ、児童玄関であいさつ活動が行われました。「相手の目を見て」「大きな声で」「元気よく」「先手あいさつ」の4つの基準を意識して、全校で取り組みました。また、7月4日(火)には、西条二区の方々が来校し、正門と西門に分かれて登校してくる児童とあいさつ運動を行い、元気をもらえましたと仰っていただきました。さらに、7月6日(木)には、キャリアあいさつ運動が行われ、甲府昭和高校や押原中学校の生徒が来校し、児童とあいさつを交わしました。お兄さんお姉さんとの交流に、気持ちも高まり嬉しさを感じていました。地域一体となって広がるあいさつの輪、大切にしていきたいです。

1学期ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、教育活動もほぼ制限を考慮することなくできるようになってきました。児童は、学習に真剣に取り組み、いろいろな経験をして、多くのことを学んで、1学期の終業式を迎えることができます。

5月8日以降、本校においては、幸い新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの大きな広がりはありませんでした。しかし、体調不良で欠席する児童が、いなかったわけではありません。ニュースなどでは、様々な種類の感染症の広がりが報道されており、常に児童の状況を注視してきました。この3年余りのコロナ禍は、児童にとっては、健康面(ケガ・病気・体力等々)や社会性(表情・対話・パーソナルスペース等々)に、少なからず影響を与えたと感じます。しかし、はっきりと目に見えることではないので、大人はこういった子どもたちの実態を理解し、時間を掛けながら本来の状況を取り戻していけるように関わっていくことが大事だと感じます。

保護者の皆さま・地域の皆さま、1学期間本校の教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。



ペットボトルに稲の苗を

植える児童

平日早朝夜間・土日祝日・学校閉庁日(8月14日・15日・16日)に学校への緊急連絡がある場合は、次のいずれかにお問い合わせください。

昭和町教育委員会学校教育課 TEL 055-275-8631 昭和町役場 TEL 055-275-2111